

# 報かがわ

発行所  
香川自治会広報委員会  
印刷所 (有) スエカネ印刷

## おめでとぅ!! 少年野球で

### 香川グリーンズが優勝

9月29日(日)に円蔵小学校で茅ヶ崎北部・寒川少年野球大会が行われた。キャプテンは今泉裕行君、選手はリーグ(5・6年生)18名、シルバー(4年以下)26名。試合は4月10日が開会式で9月まで続いた。9チームが総あたりで、リーグ戦の優勝決定戦が9月29日だった。



優勝旗を手に喜びの選手たち

対戦相手は鶴が台スターズ。3対1、7勝1敗、大会史上初めてプレーオフで優勝した。リーグは3年ぶり、シルバーは連続優勝だった。十二年間、監督として指導なさった湯川亘さんに感想を伺うと、「総員18名の子供たちですが、かぜをひいたり、けがをしたりして皆のコンディションを整えるのがたいへんです。今年の春はよい試合をしていたが、夏頃はよい試合にならなかった。最終戦が一番良かった。リーグの閉会式もかねて9チームの選手や父兄300人位の中で試合ができて、子供

たちにはとてもよい経験だったと思う。試合に出られるのは9人だけれど、控えの子供たちが大声で応援し、チームが一つになって頑張っていた。試合は一点先行され、ギリギリの所で逆転して勝った。一時は敗れてもしかたがないかなと思ったが、子供たちが頑張ってくれた。子供たちも最後まであきらめてはいけないということを学んだと思う。子供たち、応援してくれた父兄、そして指導者も、涙、涙で喜びを分かちあった。ふだんのためまぬ練習と、父兄の応援があればこそ、ここまでできたのではないかと思われる。」と語られた。本当におめでとぅございました。今後のご活躍とご健康をお祈りしたいと思います。(塚田)

## 秋空の下で 楽しむ

### 第28回香川地区体育祭

心配された雨も朝にはあがり、晴れたり曇ったりの暖かな絶好の体育日和となった10月6日(日)、第28回香川地区体育大会が行われた。各チームとも必勝を胸に、前年度優勝チームの優勝旗を先頭に、グラウンドを周り整列。

上原体振会長の挨拶や熊沢自治会長の挨拶の後、審判長の注意等があり、準備体操の後、競技に入った。先ず未就学児150人が入場、スタートして参加賞の宝を拾ってゴール。次の移動玉入れは、グラウンドを半周して入場、子供会から100人が参加、お父さんが背負った籠に玉を入れる競技で、逃げまわる籠を追って子供たちが夢中で玉を



白の鈴が先に割れた

投げ入れるが、思うように入らない。一試合1分で2回行い、玉数を競いあった。ワンカップレースは各町内男女10名ずつが、グラウンドを半周してカップを持ってスタート。水を汲み平均台を越え、ボトルに満杯するのだが、なかなか水が入らず苦戦する人もあり、アンカーはグラウンドをまわってゴールするの

で、たいへんだった。粉屋のネズミは、手を使わずに粉の入った器の中のアメを口にくわえてゴール。どの子も顔が粉で真白。粉にむせぶ子供もいた。ボールでピンを倒し、旗をまわって次の人へリレーするボーリングゲームも、なかなかピンが倒れず、1人で数回ゲームをする人もあり、次の選手は待ち遠しくイライラする一幕もあった。「人狩り競争」は「借り」の方がよいのである。又内容が細かすぎ、バスの寸法まで書くのはどうかという声もあつた。町内対抗リレーはいつも花形種目で会場をわかせ、にぎやかに大会を終らせた。

競技終了後、成績発表があり、優勝は第三町内会62点と発表され

ると、わあっと歓声があがった。二位甘沼59点、三位第四町内会50点、四位松風台36点、五位第一町内会36点、六位第二町内会32点だった。また子供会は、優勝中通り。二位との山。三位原西、原東。四位間門。五位東、北町。六位松風台だった。

## 第三町内会が初優勝

### 初優勝

第三町内会は初優勝なので大喜び、おまけに子供会も中通りが優勝という快挙に、喜びもひとしお。ワンカップレース10点、玉入れ15点、百足競争15点、町内対抗リレー



受賞した第三町内会の役員

は女子が二位、男子は三位で22点、合計62点だった。かつては第三町内会もリレー一位になり、会場をわかせることあったが、28年ぶりに初優勝とあって皆興奮して喜びあつた。特に選手選出に当って苦労された役員たちの感激はひとかたならぬ。苦労が報われたようだ。玉入れで82という最高の数が声高に発表されると、拍手かっさい優勝ムードにはずみがついて、み

んなやる気が出てきた。「何の練習もしないで、どうなることかと心配されたが、その気になればできる、集中力が出てくれれば初期の目的は達成できる。来年もがんばろう。」と某役員は語った。10月27日(日)には、優勝を祝い、選手たちの健闘をたたえる祝賀会も開かれ、子供たちもジュースを飲みながら楽しそうだった。

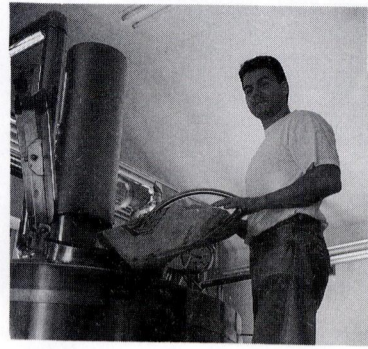
## 台風の中の敬老会

### 熱演に楽しもう

お彼岸といえはいつも晴天が多いのに、今年は台風7号が襲来して、最悪の天候となった。けれどもはげしい雨風もいとわず、数十名の高齢者が出席された。案内する役員も、来館者もびしょぬれ。こんな天気は初めて。いつもならばにぎやかに話もはずむのだが、外の樹木の揺れや窓ガラスにたたきつける強い雨に落ちつかず、早く帰る人も出た。然し、予定通りのおどり、手品、甚句、カラオケなども次々と行われ、拍手かっさい。最後に特別出演した文化厚生委員一同の自己流「船頭小唄」は、ユーモアたっぷり会場をわかせ、しばし暴風雨のことなど忘れさせるものがあった。

かさねがさね恨めしい天気だった。委員の方や役員、民生委員、婦人会の方々、ご苦労様でした。参加者を第一町内会みどり、第二町内会黄色、第三町内会水色、第四町内会赤と区別したのは、たいへんよい方法だった。帰りに長靴(婦人物、ベージュ色、中に名前が書いてある)を間違えた人がいますが、自分のものはきものを確かして下さい。まちがった人は、自治会館迄届けて下さい。

# 「湘南ビール誕生」 レストランも開業

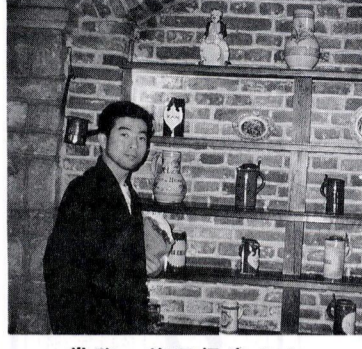


仕込中のノイハウスさん

「湘南に地ビール誕生」のニュースが、新聞に掲載されたのは、今年の春のことでした。

「えっ、酒屋さんでビールを作るの？」と、香川の人たちはびっくりしました。

明治5年(一八七五年)、初代熊澤茂兵衛さんが造り酒屋として香川に酒蔵を造ってから121年。酒造り一筋に歩んできたのに、どうしてビール製造にのりだしたのか。近日常販売し、レストランもオープンすると伺い、広報委員が早速常務の熊澤信也氏を訪ねて、お話を伺った。



常務 熊澤信也さん

「県下に60社もあった造り酒屋も、現在はわずか16社まで減り続け、湘南地区に残る造り酒屋は、ここだけとなってしまった。毎年冬になると新潟から酒仕込みのために来ていた杜氏が高齢化して、職人の数も減ってきた。このままでは跡継ぎに困るので、自分達はその伝統を守っていかねければならない時代となった。冬場の酒造りだけでなく、夏場の酒をと模索した。そしてビールを造ることを思い立った。この原動力となったのは、ビールも地酒と同じように、地域文化として育ててほしいという思いだった。日本のビールは大工場生産される工業製品だったけれど、規制緩和で地ビール造りが可能な時代となった。みずからドイツへ三度視察に行き、納得のゆく味をきめ、製造技術者としてノイハウスさんをドイツから招いた。ビール本来の風味をもった、本物のビール。豊かなコクと重層的な味わいがあり、良質の日本酒と一脈通じる、存在感のあるビール、本質で評価されるビールを造りたいと考えている。

幸いビール造りに必要な水は、酒造りと同様。丹沢山系の伏流水を深井戸から汲み上げられる良い条件に恵まれ、工場の一面にある酒蔵を改造してレストランを造った。11月下旬にはオープンの予定だ。ブームに流されない、いい店、いいビールを作っていきたい。と若者の夢を、目を輝かせて話された。将来のショコラーをになう方として、まことに頼もしい。

パンフレットも数々用意され、社員の面接試験の真最中で、広報委員の私たちも、受付の方に「履歴書を持って来ましたか。」といわれて苦笑いする一幕もあった。

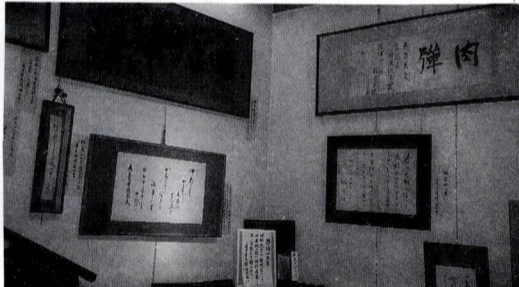
## 公民館まつり テーマ 「今輝いて」

・ステージ・展示  
・バザー等で賑う

第八回香川公民館まつりが、11月8日(金)10日(日)まで開かれた。今年のテーマは「今輝いて」だった。ステージの部では8日は、開会式の次に健康体操、手話コーラス、社交ダンス(ベルバラ)。9日ジャズダンス、講演「私たちが輝いて生きた街づくり」、落語、コンサートなどの交流会。10日は人形劇、ジャズダンス、フォークダンス、マンドリン合奏、童謡、日本舞踊、コーラス、その他、保育室やロビー、野外、2F和室、集会所を使って、いろいろな催し物が行れた。

今年はずいぶん賑やかで、香川周辺の昔の事を三人の方から伺った。岡本銀一さんは「河童徳利」、新倉栄一さんは「香川の移り変

パンフレットの、「熊澤酒造のおすすめする湘南ビールラインナップ」の一部を紹介しします。  
(1)ヴァイツェンボック  
黒ビールとふつうのビールを半分ずつ。小麦ビールであるが、その中でも特殊な黒ビールで、ヴァイツェンのフルーティさと、ボックの重装感を合わせもつ、日本酒にも似た深みと広がりのある味わいのビール。  
(2)ヘレス  
いわゆるピルスナーと類似しているが、ドイツ南部特有のホップがピシッと効いていて、麦芽をふんだんに使っているため、ガシッとしたこしがある。パンチのきいた味である。一般に飲んでいるビールに一番近い味。日本人にはなじみ深い。  
(3)アルト  
黒ビールとはいっても、テレビで宣伝しているようなものではなく、本物!!  
ビールは作られた容器の中からビン詰めをしないで、直接サーバーを通して、レストランのお客様にビールを楽しんでもらう。  
メニューは現在制作中。季節感あふれる大皿の料理。地元野菜や肉に、こだわりをもってゆく予定。ランチ1500円位(料理+ビール)、ディナー3,000円位(料理+ビール) 乞うご期待!!  
乞うご期待とのこと。技術者のノイハウスさんも好青年ですよ。



り、柳川治郎さんは昔の結婚式について語られた。

岡本さんは河童徳利を紙芝居風に話し、新倉さんは香川の地形から話された。「香川は一部丘陵があつて、小規模な森や林などが点在し、とても住み良い環境だったと思う。香川の地形は大體四角形に近く、南に大山街道、北に向つて四本の主要道路があり、東西には主として三本の道路を基準に、狭い道が何本か走って主要道路に連結している。大正5年頃、相模線が開通したが相模川から採った

砂利を京浜地区に運ぶために敷設されたものだった。倉見に積込場が作られ、たいへんにぎわった。外堤防に植えられた桜がみごとで倉見は毎年花見で賑わった。その相模線も徐々に人を運ぶようになり、香川駅もできた。おかげで住みよい土地として評価も高く、戦争中は都会から移ってくる人が多く、とりわけ戦後宅地造成が始まって戸数もふえた。香川小学校の前は畑と山林で、住民総出で草刈や整地を手伝ったものだった。」  
柳川さんは、昔は結婚式をあげる時には村境まで青年団の代表がお嫁さんを迎えに行き、挨拶したことなどを中心に、人々のくらしについて話された。

玄関前広場では、リサイクル石鹸や手芸品、日用雑貨等が売られ、焼き鳥、フライドポテト、豚汁、焼きそば、パウンドクッキー、ケーキなど模擬店も多数出て、子供たちの人気のまどだった。とりわけ餅つき、みそおでん、綿菓子などを買う人が集まり行列だった。連日盛況を呈し、活気に溢れた。

最近、留守中にお金を盗まれたり、自転車の籠に入れてある財布などを、ひったくられた被害がありました。これから年末にかけては、十分注意をして被害にあわないように気を付けましょう。被害に絡む時は、すぐに警察に連絡して下さい。

## 自治会館の机を購入

自治会館の会議用のテーブルがだいぶ損傷がひどく、使用にたえないものがあるので、今回新たに13脚を購入し、いたんでいるものは廃棄処分された。  
会館ができてから20年も経っているもので、椅子などもこわれているものもあるが、公共の物は大切に扱うことが大事だ。  
新しく買った机は、表面を傷つけたり、脚がいたまないように、取り扱いに注意してほしい。

## 防災訓練を実施

12月8日(日)9時30分から、香川第一青少年広場で、自治会会員及び子供会を対象にして、香川自治会防災訓練が実施される。  
一、実施方法  
(1)9時半までに、第一青少年広場に集合し、各町内毎に整列する。(各町内会長が指揮をとる)  
(2)町内会長は、自治会長に人員を報告する。  
(3)参加人員報告後、自治会役員は本部前に集合する。  
(4)防災本部長(自治会長)挨拶。  
(5)各町内会長(防災部長)指揮のもとに、各町内ごとに所定の場所に移動して、訓練に入る。  
二、訓練内容  
(1)起震車による地震体験。全員第一町内会から順番に実施。  
(2)初期消化の訓練  
消防署の指導のもとに行う。  
(イ)訓練用水消火器を使用。第四町内会から順に行う。  
(ロ)バケツリレー(町内ごとにする)バケツは各町内で準備。  
(ハ)三角巾の使い方訓練  
消防署員、救護班指導のもとに行う。

空襲もひたたくりに注意  
最近、留守中にお金を盗まれたり、自転車の籠に入れてある財布などを、ひったくられた被害がありました。これから年末にかけては、十分注意をして被害にあわないように気を付けましょう。被害に絡む時は、すぐに警察に連絡して下さい。

# 家族で楽しんだ地引網

## 大すずぎに歓声があがる

10月13日(日)、晴天に恵まれて、ふれあい委員会主催の地引網が、西浜海岸で行われ、毎年おなじみの兼網さんの網を引いた。大天幕が浜辺に張られ、家族で和やかにくつろぐ。

第一回は8時半。ウキが渚に近づき、「かかれ」の合図で力いっぱい引っぱる。親子で仲よく引きあったり、友達たちと元気よく引っぱる子供たち。静かだった海辺は、一斉に活気づく。魚の入った袋が見え始めると、「何が入っているのだろうか。」「早く見たいなあ。」と子供たちは待ちきれない様子だった。網が上げられ、たくさんのいわしがとれた。中にはしらすや小さなイカやアジの赤ん坊も。ゴリというとげがあり毒をもつ魚もいて、刺されたいへんと警戒する。二回目は11時頃。この間に



大すずぎを持って喜ぶ人たち

去年は、しらすばかりだったそうだが、今年はいわしがたくさんとれ、帰りに欲しいだけいわずに袋に詰めて帰る、みな満足そうだった。



大魚のいわし

### 文化祭

#### ポスターも展示

今年度の文化祭は10月26日(土)、27日(日)の両日、例年のように行われた。

御高齢ながらもごとな陶芸、パソコン水彩画の作品を出された、熊沢茂吉さんの展示物は、見る人に感動を与えた。

岡本銀一さんご夫妻の書画、藤村球子さんの皮製品、フォトクラブ幸子さんの皮製品、フォトクラブ等の写真。とりわけ飛弾の合掌作りのライトアップされた山宮弘さんの夜景は、寂漠とした山里のわびしさを十分伝えた。また、またまた真崎彰夫さんの作品もすばらしかった。

ちぎり絵、編み物、絵画、俳句、生花なども例年なみだったが、いざれも力作ぞろい。文化祭に花を添えた。この文化祭は、菊花展から始まり、たくさんの菊が飾られて、投票によって賞を決定するという品評会も行われたが、(1)運搬がたいへん、(2)花や蕾がとれたり、せっかくの作品が傷つくなどの理由で、年々出品者が減り、今年は管理人の山口さんだけの出品となつたのは、さびしいことだった。



皮細工に見いる人たち

### 自治会専用立て看板補修

#### ペンキ塗り替え作業を行う

町内各所にある自治会専用の立て看板が、一部補修を必要とするもの、色が落ちてしまっているものがあるので、環境整備委員会では、補修及びペンキの塗り替えを行うことになった。予定は、  
◎11月24日(日) 午前9時から  
第二町内、第三町内

◎12月1日(日) 午前9時から  
第一町内、第四町内  
雨天の時は延期する。  
町内役員で当日お手すきの方はぜひお手伝い下さいませよう。

### 明るい選挙推進運動に協力下さい

新しい選挙制度のもと、衆議員議員通常総選挙が去る十月二十日に行われました。選挙の度に私達茅ヶ崎市明るい選挙推進委員会のメンバーは、市民が投票を棄権しないようにと、茅ヶ崎駅北口や南口で、通行人にチラシを配って呼びかけをしたり、市の広報車で市内を廻り、選挙に対しての意識を高めてもらいたい、啓発活動を行っています。今回も小雨降る中、広報車に乗り、マイクを通して

市民に呼びかけをしましたが、通行人の反応はあまり感じられず、下校中の学生が手をふってくれた時には嬉しい思いになりました。茅ヶ崎市の投票率は、小選挙区56・42%、比例区56・39%でした。私達の代表を選ぶ大切な選挙に、もっと関心があってもよいのではと思います。選挙推進協議会は、正しく明るい選挙と投票総参加を推進している会です。今年も九月に推進大会が茅ヶ崎市民文化会館小ホールで行われ、アトラクションでは「日本一短い母への手紙」が上映され、また市内の中学校の生徒から応募があった、標語の入賞作品の紹介がありました。

全市民が「明るい選挙推進運動」に参加していただくようにと呼びかけています。皆様のご協力をよろしく願います。(岩本)

### 自然と子どもたち

#### 寺岡 早苗

海岸の浜須賀から移り住んで、はや15年になります。当時はまだまだ自然があちこちに残っており、カエルや虫の大好きな子供達の格好の遊び場所が、親が連れて行かなくても、すぐ近くにありました。小学校低学年だった息子がポリバケツ一ぱいにカエルの卵を持ち帰り、元の池に返すように私がいくら言っても聞かず、結局卵は「私の思うこと」シリーズ③ 酸素不足で全部死んでしまいました。ザリガニを採りに行くときは、みみずより肉の方がよく採れると言って、鶏肉や豚肉を木の枝の先に糸でぶら下げて田んぼによく行き、その結果、鶏肉の方がザリガニがよく採れるということがわかりました。夏休みの夜は、父親とカブト虫を浄見寺の周辺まで採りに行き、父親からどんな所にカブト虫がい

るか教えてもらい、探したところは元の通りにおくように注意されたこと。そして、どうしても家の庭にカブト虫が来るようにしたいと言って、高さ30〜40センチのこたらを雑木林から抜いてきて、「この木にカブト虫がくるようになるときは、あなたはおじいちゃんになっていて孫のときだね。」と言いつつ、高さが思い出され

毎日の子どもの生活の中に、自然がたくさんあって、その中から、いろいろなことを体験して大きくなっていったと思います。

香川も次第に自然が少なくなつてきており、子供たちは、どこで遊んでいるのかなあと思います。少しでも自然を残していきたいですね。

三内丸山遺跡はJR青森駅から南方へ約3km、八甲田山系から延びる標高20mほどの小高い台地にある。この遺跡は縄文時代前期(今から五千五百年前)〜中期(四千年前)の千五百年の間、連続して継続した大集落である。

最も繁栄した縄文中期には、500人前後が定住生活していたという事も分ってきている。今まで、ほとんどの人が縄文人のイメージは、縄目の土器を使い、少数で移動しながら採集、狩猟の生活をして、文化の香りの薄いものかと思いきや、三内丸山からの種々の発見により、豊かな山の幸、海の幸などに恵まれて、自然と共に高度な技術と文化を生み出す知性をもっていたことが分ってきた。この地に居住を

## 《北のまほろば》 三内丸山遺跡への旅

梢 橋 土

始める前は、落葉広葉樹林のブナやミズナラが広大な台地を覆っていた。しかしここに居住し始めた人々は、住んでいる場所を人為的に変えて、食べられる木をふやし、最も栄えた縄文時代中期には、周りのほとんどに粟が栽培されるようになる。

「大型掘立柱建物跡」(高床式建物)は直径1mの栗の木で出来ていてその6本柱(1間×2間)の周りは焦がして腐りにくく加工してあり、底は石斧で削った跡が残されていたという。樹齢100年の巨大木柱をどのようにして持ってきて建てたのだろうかと思うと、北の縄文人のエネルギーを感じずにはいられない。現代人よりレベルの高い豊かな日々だったのではと、考えさせられた旅だった。

### 転入・転出は 組長に連絡を

第二町内会  
総務 中村博子

何もわからないまま町内総務をお引き受けしてから七ヶ月、他の役員さん達の足手まといにならぬようにするのが一杯の私ですが就任して気がついた事を一言。

総務の仕事の一つに自治会委員数の把握があります。これは組長さんから組員の異動を知らせていただかなくてはできない事なのですが、転入・転出されるご本人から届出がないと肝心の組長さんも把握できないという事で、届出が大幅に遅れる事も多いようです。転入・転出される方は、組長さんに一言声をかけて頂きたいと思っています。

今年度自治会では防災問題に対して特に力を入れて討議を重ねています。防災に関しては茅ヶ崎第一のマンモス自治会だからこそ、まずは隣近所の人とおつきあいが大事になってきます。

### 集 募

歌うことの好きな人  
歌いませんか?  
コーラス(ラルゴ)

結成六年目になる歌うことの好きな人の集まりです。

先生の明るいお人柄、弾むピアノの響き、コーラスの合間のおしゃべり、二時間があっという間に過ぎてしまうほどの楽しさです。

コーラスの経験のない方でもすぐに歌える、懐かしい歌・童謡・叙情歌・シャンソンと、レパートリーはたくさんです。

練習は毎月一回、第三火曜日、一時半から三時半。香川スイミング傍、長島先生宅です。

連絡先 本渡 ☎527八六四

### 新しく香川の福祉に スタート!

「ボランティア香川」は、10月1日からスタートしました。障害を持っていて介助を受ける者も、介助するボランティアも分け隔てない立場で、明るく住みよい地域づくりを願って進めています。

おかげさまで、その後9名のボランティアの応募があり、全会員は現在29名です。

活動内容は(1)援助を必要とする家庭等への支援(2)ミニデイサービス(第三月曜日)(3)ボランティア相互の勉強会(第二月曜日)などです。

介助の対象者は、障害を持つ方、虚弱或いは痴呆性の高齢者で介助の必要な方です。どうぞお気軽にお申し出下さい。

会場は香川地区に適切な施設がまだないため、当分の間ミニデイサービスなどは、下寺尾の「ふれあいの森」をお借りすることができました。また茅ヶ崎市社会福祉協議会から、車椅子や車椅子で乗れるハンディキャブが借りられてそれで送迎も可能です。

まだスタートしたばかりですが、行政が届かない谷間の部分のボランティアをしよう、全員志高く掲げて燃えています。

福祉の道は、近くて長い道です。あせらず一歩一歩階段を昇りつめていきたいと思っています。

介護者も当事者もボランティアも、人と人とのふれあいの中で、泣いたり笑ったり人生の生きがいを感じながら助けあい、私たちの問題を共に住みよい「福祉香川」を、みんなでつくりあげていきたいと思っています。よく分らない点、詳しいことは遠慮なくお尋ね下さい。

代表 坂田弘子 ☎576四五一

### 計報(平成8年11月7日現在)

飯島 操様	98才	9月19日
第三町内会	12組	
亀井 シマ様	88才	9月20日
第三町内会	5-1組	
大迫キクエ様	88才	9月21日
第一町内会	23-1組	
高宮 昌平様	85才	10月4日
第二町内会	1-4組	
篠崎 キヨ様	80才	10月9日
第二町内会	49組	
熊澤フジエ様	89才	10月15日
第四町内会	38-3組	
鈴木 俊夫様	64才	10月19日
第二町内会	6-2組	
橋本 耕作様	62才	10月22日
第三町内会	20組	
阿諏訪ツル様	94才	10月24日
第三町内会	5-1組	
高羽しづ子様	78才	10月30日
第二町内会	49組	
南里 忠光様	70才	11月1日
第四町内会	33組	
朝比奈喜代子様	50才	11月2日
第一町内会	24-1組	
柳田喜代次様	78才	11月3日
第二町内会	43-2組	

## 俳句 茅花会 平塚司郎選

長島 久江

越えてより寂しくなりぬ芒原  
風に靡く穂芒の原は海を渡っているような気がする。そんな中をぬけてはっとすると同時に、何か芒の力から脱け出したような気分になり、ふと寂しさを感じている。

足裏にほてりの残る運動会

碓 百合子

衣被渾名で呼べる友と居て

里芋を皮のまま茹でた素朴な食べ物「衣被」、塩をつけると旨い。気の置けぬ友達と楽しんで

で食べている様子が見える。  
山影の半分ばかり稲架襖

青山 淳子

病室の窓開け放つ鯛雲

一面の鯛雲だ。ちょっと見てみるかと病室の窓を開けて、窓辺にさそう姿は、病人の容態を気遣う人の心情と言えよう。

保線夫の刈らずに去りし蔓珠沙華

田辺美津枝

自然薯と土の匂いと貰ひけり

折れないように笹竹を添えて、掘ってきたばかりのくねくねした自然薯を買った。付いている

土の香がなつかしい。  
冬帽のハイカーの行く峠道

藤村 球子

振り返る島霧ごめの灯の一つ

湯川 章一

馬頭観音芒供へてありにけり

石田カツ子

残照に群れて混ざりし赤とんぼ

沓澤 幸子

秋刀魚黒焦げ飯場の膳の喧しき

山茶花の色を濃くせり雨上り

選者 吟

久々に家族の揃うなべ料理

棲み古りて雑多な菊を咲かせけり  
連絡先 長島久江 ☎576五二五



コーラス「ラルゴ」の方達

### 訂正

(1) 会員名簿

(正)

- 第一町内会
- 7組小森屋 一郎 ↓ 小森谷 一郎
- 第四町内会
- 32組 境 泰人 ↓ 堺 泰人